

理系の専門性や強みを活かす分析部門



税関での分析業務は、大きく2種類に分けられます。1つ目は、関税率を決定するための科学的根拠を提供する分析です。輸入貨物は、品目により関税等が課せられ、構成成分や割合等により関税率が異なります。そのため分析によって正確な定性・定量を行い、関税率の決定に貢献します。

2つ目は、密輸される大麻・覚醒剤等の不正薬物や金の鑑定です。入国旅客の手荷物検査等から不正薬物と疑わしい物件が発見されたとしても、見た目だけでは本当に不正薬物なのか判断はできません。成分分析によってその疑わしい物件が何であるかを鑑定します。

分析部門では、成分分析や不正薬物・金の鑑定を行うことで、「安全・安心な社会の実現」、「適正かつ公平な関税等の徴収」に貢献しています。

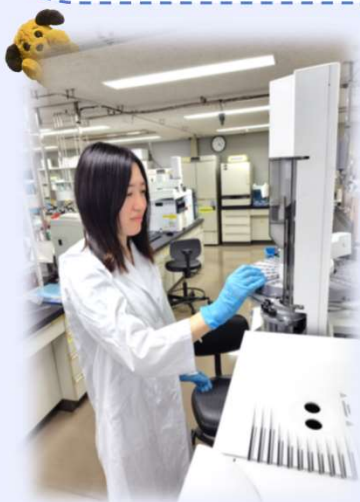


令和2年度採用
一般職大卒（化学）
業務部 分析部門

税関を目指した理由

薬学部在学中、薬剤師の方とともに小学生に向けて「薬物乱用防止教室」を行いました。講師として参加するにあたり、薬物乱用の現状について調べている際、『国内で流通している不正薬物の大半は海外から密輸入されたものであること』『不正薬物の密輸入を阻止するため税関等関係省庁が協力し水際対策にあたっていること』を知り、税関に興味を持ちました。

税関では、薬に関する知識や薬学部生時代に注力していた研究活動での知見を活かしつつ、またそれらにとらわれることなく幅広い業務に携わることができるという点に魅力を感じ、税関を志望しました。



仕事をしていて大変だったこと、 うれしかったこと

分析して出した数値の誤差が少なく、また輸入者から提出を受けた書類に記載の数値とも差異が認められないときには、その書類の内容が税関分析によって裏付けられたといえるため嬉しくなります。



休日の過ごし方

レッサーパンダとペンギン（特にマゼランペンギン）が好きで、旅行先では近くに動物園や水族館がないかを探してしまいます。もし、好きなキャラクターとその動物園や水族館とコラボのカプセルトイがあれば、ガチャガチャを回すまでがセットです！



とある1日のスケジュール

- 08:30 出勤、分析依頼を確認、実験のスケジュールを立てる
- 09:00 実験開始
空き時間にメールの確認や成績書を作成
- 12:15 昼食
- 13:00 部門内ミーティング
- 13:15 実験再開
- 16:30 実験結果整理、片付け
- 17:00 退庁



不正薬物だけではなく、食品などあらゆる品目について実験を行っているワン！



職場の雰囲気

先輩・後輩に関係なく全体的に話しやすい雰囲気があります。特に分析部門に関しては、部門の隔てなく相談や質問をしやすく、また実験がうまくいかないときは上司に実験を手伝ってもらうこともあります。

税関職員を目指す人へ一言



税関の魅力は、学生時代学んだことを活かしつつ、業務内容が多岐にわたり様々な業務に従事できるので、新たな学びや発見があることです。また働き方も柔軟に変化しつつあり、必ず自分に合った配属・働き方が見つかると思います。